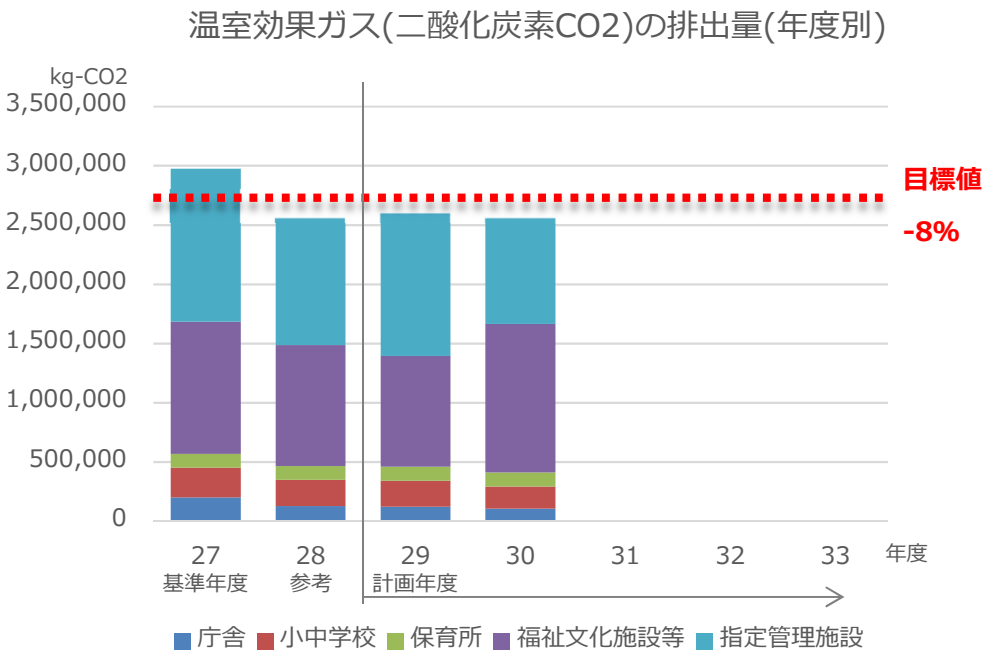
富士川町役場環境保全率先行動計画(第2期)　事務事業編(公共施設)

公共施設等の燃料等の使用実績における温室効果ガス(二酸化炭素CO2)総排出量の状況(平成27年度(基準年度)～30年度)

■温室効果ガス(二酸化炭素CO2)の総排出量(年度別)　　単位：kg-CO2

項目	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成27年度からの削減率
	排出量	増減率	排出量	増減率	排出量	増減率	排出量	増減率	排出量	増減率	排出量	増減率	排出量	増減率	
庁舎	198,443	100%	126,091	64%	121,663	61%	104,263	53%							
小中学校	252,240	100%	220,668	87%	218,030	86%	187,962	75%							
保育所	115,243	100%	118,697	103%	118,671	103%	117,185	102%							-406,572
福祉文化施設等	1,117,050	100%	1,019,196	91%	935,159	84%	1,253,907	112%							-14%
指定管理施設	1,290,768	100%	1,081,287	84%	1,210,067	94%	903,855	70%							
合計	2,973,744	100%	2,565,939	86%	2,603,590	88%	2,567,172	86%							
	基準年度		参考		計画年度										



【参考】

■計画目標である平成27年度比-8%については-14%で達成し、前年度と比べても-2%の削減に成功している。排出源別の割合では、電気の増と暖房用燃料の減が顕著であり、夏季の記録的猛暑と暖冬の影響がそれぞれ数値に表れている。

■施設の老朽化も進んでいるが、20年近く使用している公用車が多数あり、ガソリンの使用量は基準年度以来一貫してプラスのまま推移を続けている。職員による省エネルギーの取り組みをさらに推進するとともに、施設や公用車の計画的な更新を図る必要がある。